

きよつ紙面



鈴木化学工業所の「十年急須」販売好調。累計2千個突破。6月に新色追加。5面

名古屋 3面
尾張・知多 4面
岐阜 6面
三重 7面

バックアップデザイン、商用車「プロボックス」をSUV仕様でセントラル製麺、値上げ影響抑制へ付加価値商品拡大タニサケ、独自の福利厚生で社員の能力引き出すパーソナック、グループで新卒採用強化



2022年(令和4年)

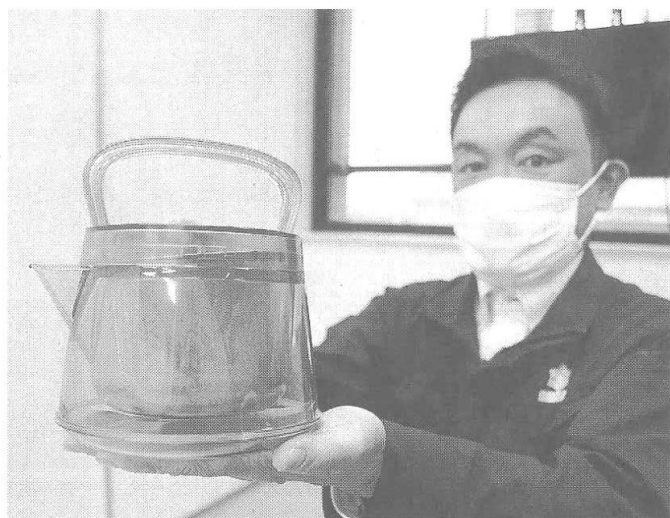
5月17日
火曜日

発行所
中部経済新聞社
〒450-8561
名古屋市中村区
名駅4-4-10
編集局 052(561)5212
読者相談 052(561)5216
広告部 052(561)5213
事業部 052(561)5675
総務部 052(561)5215
東京支社 03(3572)3601
©中部経済新聞社2022
購読のお申し込み
☎0120-605-123

新聞に、当社の「十年急須」大きく紹介！！

樹脂製急須の販売好調

鈴木化学工業所 1年で2千個突破



耐久性や保温性評価 新色も追加

自動車用樹脂部品製造の鈴木化学工業所(本社愛知県幸田町六栗左右作2の1、小幡和史社長、電話0564・64・1058)は、オリジナル商品「十年急須」の販売が好調だ。樹脂製のため軽くて割れにくく、本体を二重構造にして高い保温性を実現した。販売開始から1年で累計2千個を突破しており、6月には新色も追加する。コロナ禍で増えた「おうち時間」を快適に過ごすアイテムとして提案する。
(三河・小山楓)

十年急須は、樹脂部品製造の際の溶着技術を生かした二重構造の本体が特徴で、軽くて割れにくく、保温性に優れている。ものづくりのスタートアップ支援を手掛けるAMN(本社安城市)の商品開発プロジェクトがきっかけで誕生し、昨年春に一般販売を開始した。価格は税込み6千円。自社ECC(電子商取引)サイトなどで販売している。

小幡社長

「十年急須」をアピールする

通販カタログ「通販生活」への掲載、幸田町のふるさと納税の返礼品に採用される。

たことなどで認知度が上がり、発売から1年間で約2300個を売り上げた。これまで、白、黄、黄緑、紫、赤、青の6色を販売していたが、今回新たなカラーとしてグレーを開発。AMNのプロジェクトの二環で名鉄百貨店本店(名古屋)

市)で行った事前販売ではグレーが一番人気だった。6月初旬をめぐり自社ECCサイトなどで取り扱いを開始する。今後は贈り物としての需要も見込み、十年急須への文字入れなどのオプションの設定を検討しているほか、高い耐久性などの特徴を全面に出した新商品も開発中だ。小幡社長は「ECCサイト以外にも販路を確保し、引き続き販売に力を入れていきたい」と話している。

※実際の記事の大きさは、もっと大きいです。

(この用紙A4ぐらいの大きさ)